

## 五重塔の佛たち

空海（774-835）は、真言密教の神聖な宇宙論を反映するように五重塔の内部を設計した。真言密教の弟子はシンボルによる宇宙の描写である曼荼羅を禅定の助けになるものとして使用する。

塔の中心に安置されているのは、この真言密教のパンテオンとも言える場所の最高位を占める五智如来である。真言密教のすべての核となる基本原理、または宇宙の佛である大日如来は中心柱によって表されている。柱を取り囲むそのほかの4体の仏陀は、極めて重要な富岳をそれぞれ向いている。東方佛の阿閼如来、南方佛の宝生如来、西方佛の阿弥陀如来、北方佛の不空成就如来。これらに、他の生物が涅槃に入るのを助けるため、悟りを開くことを遅らせてこの世にとどまった慈悲深い八菩薩が加わる。